

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年02月16日

計画の名称	御殿場市営住宅の長寿命化及び安全性・居住性の向上（地域住宅計画）													
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	御殿場市													
計画の目標	『団地別・住棟別に現状の把握を行い、状態に見合った適切な維持管理により、住環境の向上と、ニーズに合った住宅を提供することで、安全でゆとりのある住まいを実現する。』													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		120	A	120	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	昭和64年以前に建てられた中層耐火構造住宅の長寿命化対策実施率（地域住宅計画） 昭和64年以前に建てられた中層耐火構造住宅の住戸の長寿命化対策実施率 （長寿命化対策実施率）=（給排水設備更新を行った棟数）/（対象棟数）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	御殿場市	直接	御殿場市	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	給排水設備更新(御殿場72戸、上栄16戸、富士岡16戸、印野第一16戸)・長寿命化計画策定	御殿場市						120		策定済	
												小計						120		
											合計						120			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者等から構成される、御殿場市都市計画審議会より意見聴取を実施	令和4年1月
	公表の方法
	市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	御殿場団地(72戸)の給排水設備修繕を実施した。 給排水管の材質を、金属管から樹脂管へ変更した結果、配管の腐食や錆の懸念が解消された。また、配管経路を埋設配管から露出配管へ変更したことにより、維持管理の容易化等が図られ性能及び耐久性が向上した。 バルコニーについては、既存の防水モルタルの上にシート防水を施工し、雨水による躯体への影響低減を図ったことにより、耐久性と防水機能が向上した。 御殿場市営住宅等長寿命化計画については、市営住宅の適切な点検・修繕・データ管理等を行い、将来的な需要の見通しを踏まえた団地のあり方を考慮した事業方法を選定するとともに、予防保全的な維持管理・改善を計画的に取り組み長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を目標とした計画を策定した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	予防保全的な改修修繕で市営住宅の長寿命化を進めることにより、ライフサイクルコストの縮減が図られた。
特記事項(今後の方針等)	
今後も、御殿場市営住宅等長寿命化計画及び次期社会資本総合整備計画に基づき、既存の住宅を長期間使用できるよう維持管理を進めていく。 また、住戸の長寿命化対策実施率100%達成に向けて、昭和64年以前に建てられた中層耐火構造住宅の給排水設備改修を進め、あわせて、外壁防水塗装更新を計画実施していく。 改修修繕を引継ぎ進めるにあたり、各計画の見直しなどを行い限られた財源のなかで事業効果の最大化に努める。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	60%
		入札不落により事業 実施できなかった年度があったこと、全体を通し予算の確保が難しく実施事業を縮小したことが要因と考えられる。